

糖尿病性腎症の透析選択



私は糖尿病性腎不全で、視力が弱く、手先がうまく動かないのですが、CAPDは可能ですか？

(1) 操作は、専用の機械を使用すれば可能

CAPDでは、患者さん自身、あるいは介助者が透析を行います。視力障害や手先の不自由な方のために、バッグ交換の方法も色々工夫されています。

(2) 医学的なCAPDの特徴

糖尿病性腎症の患者さんの場合、心不全、視力障害、および脳血管障害などの合併症を伴う場合が多く、以下のような特徴があります。

- 血液透析のように間欠治療でないので、血圧の変動が少なく、管理が容易。
- 急速な体液の変化がないため、心臓に優しい。
- 24時間高濃度のブドウ糖を含んだ透析液がお腹の中に入っているため、一般に血糖値は上昇するが、低血糖の危険が少なく血糖のコントロールが容易となる場合がある。
- 血液透析では血液が固まらないようにヘパリンなどの抗凝固薬を必要とするので、糖尿病の患者さんは眼底出血などの危険が多いが、CAPDでは安全である。